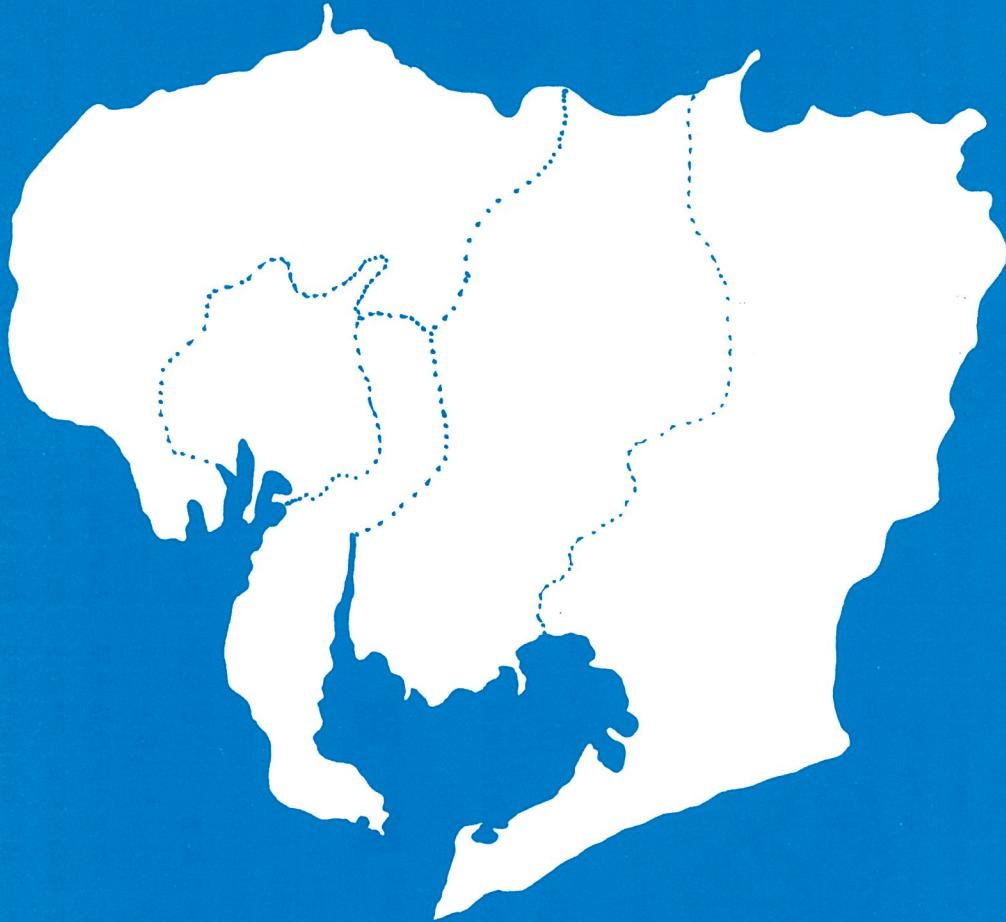


観の眼



目 次

巻頭言	1	道場紹介 洗心道場	13
祝顕彰	2	おめでとう 称号及び段位合格者	14
特集 21世紀の女子剣道	3	尚武杯争奪剣道大会の優勝旗新調	15
中学校部活動の現状と課題	9	隨想 雜巾がけ	15
二年生剣道選択授業の実践を通して	10	事務局だより	16
投稿 40才からの剣道	12	連盟所在地	17
お薦めする本	12	編集後記	18

第24号



財団
法人

愛知県剣道連盟

この度財団法人愛知県剣道連盟の会長に就任することになりました。

ご承知の事とは思いますが、

本連盟は昭和二十七年に結成され、昭和六十二年七月に財團法人として認可をうけ、法人団体として再出発をして約五十年の経過をたどつてまいりました。

結成以来全国大会の優勝、全国大会の開催、県内の剣道大会、講習会、稽古会、段級位の審査会等数多くの剣道行事を計画そして実施して剣道の発展につとめて、全国の剣道連盟の中でも最良の連盟との評価をうけております。

初代会長土川元夫、二代目竹田弘太郎、三代目杉山孝雄というご立派な会長のご指導、そして会員の諸先輩の剣道をに報いるため全剣連から毎年授与される功労賞、有功賞が平成十一年十一月十六日に東京都千代田区九段会館で贈呈式が開かれました。当県剣道連盟では、次の三名の先生方が顕彰されました。

祝 顕彰



剣道の普及、発展に尽力された方々

に報いるため全剣連から毎年授与される功労賞、有功賞が平成十一年十一月十六日に東京都千代田区九段会館で贈呈式が開かれました。当県剣道連盟では、次の三名の先生方が顕彰されました。

五十周年記念誌編集にむけて

一 資料・情報提供のお願い

記念誌編集委員会

昭和二十七年十月に全日本剣道連盟が結成され、本県の剣道連盟も同年十二月七日に結成されました。爾来半世紀をへて、全日本剣道連盟を始めとして各県剣連・各支部では、始まりとして各県剣連・各支部では、記念誌発行の準備が進められております。平成十四年（西暦二〇〇二年）十二月をもつて創立五十周年をむかえる本剣連においても、いよいよ記念誌の編集準備の運びとなりました。

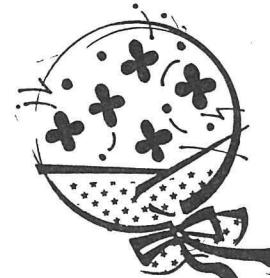
昭和十六年より教職にあり、学生剣道の指導、育成に尽力。愛知県剣道連盟の発足以来、東海学生剣道連盟において要職を歴任され、会長として、学生剣道の発展に多大な貢献をされました。

東海学生剣道連盟名誉会長
名古屋市立大学名誉教授
國士館専門学校卒
第一回の会合が県剣連盟事務局にお

設立経過・行事活動・現況などの資料提供を頂くためのフォームを決定

二、有功賞

教士 石川富三郎先生 八十才
葵劍友会 館長
教士 稲垣徳三先生 七十九才
自営



両先生は、地域または特定の領域において、剣道の普及発展のため長年にわたり功績がありました。

不肖な剣道連盟の会長であります。が出来たと感じております。

私は「和の剣道」という言葉を私の剣道の中に目標として、正しく剣道の技法を修錬して、剣道を仲よく練習しようと、相手を尊敬して剣道を稽

めました。この事は全くおもつておりません。

不肖な剣道連盟の会長であります。が出来たと感じております。

私は「和の剣道」という言葉を私の剣道の中に目標として、正しく剣道の技法を修錬して、剣道を仲よく練習しようと、相手を尊敬して剣道を稽めました。

卷頭言



助愛知県剣道連盟会長

谷 銀 吉 郎

日本剣道連盟が提唱する「剣道への協力、新しい世代を引きつぐ子供達への剣道指導の結果である」という理

道は剣の理法の修錬による人間形成の道である」という理法と同様であつて、剣道の理念であつて、剣道のよき修錬念であつて、剣道のよき修錬によりたのしい生活を送りたいと思つて、連盟をつくり、連盟の会員になつていただいていると思つて、連盟をつくり、は互いに「仲よく」「理解をして」剣道が出来るような、連盟の会員になつていただいていると思つております。私は互いに「仲よく」「理解をして」剣道が出来るよう、連盟連盟の運営をしてゆきました。

多くの人が剣道を愛して剣道によりたのしい生活を送りた人、男女の人々等があります。た職業の人、又年齢の違った人、男女の人々等があります。多くのが剣道を愛して剣道によりたのしい生活を送りた人、男女の人々等があります。た職業の人、又年齢の違った人、男女の人々等があります。多くのが剣道を愛して剣道によりたのしい生活を送りた人、男女の人々等があります。た職業の人、又年齢の違った人、男女の人々等があります。

古しよう、という事を考えて、剣道をやつております。

連盟は数多くの会員によつて結成されています。異なる

私は東京高等師範学校時代

念であつて、剣道のよき修錬法と同様であつて、剣道の理

道は剣の理法の修錬による人間形成の道である」という理

特集 21世紀の女子剣道

二十一世紀の到来を明年向えるにあたり、愛知県剣道連盟では、女子剣道の要として活躍されている、各地区の代表の方にこれらの女子剣道のあり方や、発展についてその想いや願いを述べていただきます。

女子剣道について

東朱美

「僕達が若い頃は女性と一緒に剣道をすることなんて夢にも考えなかつたことだよ。」と、少々年配の男性の先生方がおっしゃっているのをよく耳にします。その言葉どおり戦前、剣道は男性独自のものでありました。しかし、今は女性を抜きにして剣道界を考えることができないといつても過言ではないでしょ。

昭和六十年頃から剣道人口の減少が目立ち始めましたが、その時でも中・高校生の女子部員数はゆるやかに上昇し、女子剣道愛好者は上の年令へ広がり続けてきました。このような女子の伸びが無ければ、

剣道人口の落ち込みは今よりずっと深刻なものになっていたと思

います。

本来剣道に二つは無く女子剣道という特別なジャンルは無いはずですが、体力的な面等男女の特性としてどうしても違いがでてくるもので色々な面で男性と全く同じでなくしてよいのではないかともいわれています。子育てをし躾をするのは主に母親の役割であります。指導の過程で子供の躾につなげていける剣道を次の時代へ伝承する上でも女子剣道は大きな役割を持つもので、今は女子剣道を振興するために必要な事項を検討し、対策を考える時期にきていると

平成九年度、全剣連では普及委員会の中に女子剣道に関する小委員会を設け、平成十一年度には小委員会

でもかまいませんので、皆様のご協力をお願いいたします。

女子委員会で提案し実施された女子剣道に関するアンケート結果を見ると、愛知県は女子の稽古会、講習会の回数や女子剣道の扱い等、全国的に比べても女子には恵まれた環境にあるといえます。これも早い時期から女子剣道といふことに着眼され、健全な発展に取り組んでこられた愛知県の先生方のお蔭だと、改めて感謝し敬服するばかりです。

これから私達女性は男性の理解と協力の中、それに甘えることなく努力を重ねていかなければいけません。私自身もこれから女子剣道のために、何か協力していく道を始めたいというのだ。たら幸いと考えています。

交劍知愛

永田操

先日、ニュージーランドに住む私の姪から剣道防具一式を送つてほしいと頼まれた。七年振りに剣道を始めたいのだ。彼女は大学卒業を機にシンガポール、エジプト、イギリス、ドイツ

など二十数ヶ国を一人で見て廻り、ニュージーランドに住み、コンピュータープログラマーをしている。遠く日本を離れて生活していると日本の武道の精神が新鮮に見えるらしい。小学校五年生から剣道を始め、中、高、大学と十二年間それなりに剣道に励んできた。そして五年前にニュージーランドに渡り、アルバイトをしながらコンピュータープログラマーを目指した。自分のパートナーとなる男性も見つけ、会社にも就職した。離れたニュージーランドで剣道を始めるといつても一体どんな練習が出来るのだろうか。姪に電話で剣道事情を聞いてみた。稽古場は、自分が通つたウェーリントンの大学の体育館ほどが週三回、一時間半から二時間なった。地元の反対側で私達と同じながら何だかとても嬉しい気分に思うと、ワクワクしてくる。

ウェーリントンのクラブでは半数以上が初心者で基本重視の稽古をし、道をしているという。勿論、毎回互に稽古をしていて、稽古をしてくれる人達がいるのかと思うと、ワクワクしてくる。

21世紀に向けて女性剣道の発展と現状、今後の課題について

重松ミチ子

格稽古をし、今年の世界大会には三人が代表に選ばれ出場するなど本格的な剣道もしているらしい。クラブの指導者は「スー」という剣道四段の五〇才代の女性です。福祉関係の仕事をしながら護身術師範としても活躍するパワーあふれる女性だそうである。

ニュージーランド国内では他に四ヶ所稽古をする場所があり、一〇〇名程が稽古に励み、女性剣士も多くいるという。毎年、西尾市で開催されている「中部日本剣道大会」に今ドチームが参加し、大会を盛り上げるなどなかなかの活躍をしたと聞く。「侮るなけれ、ニュージーランド剣士達」と、いう気分である。

仕事、家事、育児等々に追われ、忙しい毎日を過ごす私達は剣道と両立させることは難しい。過日、西三河女子部でのアンケート調査でも講習会、稽古会に参加したいが日程、時間が合わないなど両立が難しいという結果が出ている。しかしながらこうした海外での剣道事情を聞かされると「初心に帰れ」「初心忘るべからず」と、言つた感じである。

剣道の魅力は、剣道をする人が多いが言葉はすごく明るい、一体の調子でも悪い」とたずねると、「風邪気味なの」といつもの元気はない、

から女子委員会となりました。

本委員会の機能は普及・試合審判規則・段位称号・科学各委員会等に含めることができます。

女子剣道は歴史が新しく性差など女子特有の問題が表面化しにくい危惧があるということで、これらの点を

検討し各種委員会に提言し、女子剣道連盟への女子剣道に関するアンケートの実施、女子審判講習会の実

ます。これまでの活動としては各県

道発展のための調査委員会であると

いう本委員会の位置づけがされてい

ます。これまでの活動としては各県

道連盟への女子剣道に関するアン

ケートの実施、女子審判講習会の実

にかかわってまいりました。また特

に委員会で検討されてきたこととし

て、女子の審判の問題があります。

女子審判に対する色々と論議はあ

るでしょうが、これからは女子が審

判をする機会も増え、女子の試合は

と願っています。審判も剣道と同

じで審判技術といわれるよう多く

の講習会に参加し勉強し、沢山経験

を積んで上達していくものだと思い

ます。しかし現状は女子が審判をす

る機会はありません。審判をす

る機会が少ないのでなかなか上手

にならない、といった悪循環になつ

てゐるのではないでしようか。これらの女性自身の努力も勿論ですが、長い目でみていただきたいと思います。

もう一つの大きな課題として女子剣道の育成ということがとりあげられています。今、教育の中に占める躾や道徳的なものの割合が減少しています。

近頃、青少年の犯罪等が社会問題として新聞などに大きくとりあげられています。

いる中、剣道に息づく武道精神が見直され始め、それによつて剣道による人間教育のできる指導者が求めら

れています。こんな時こそ女性特有の愛情溢れるキメ細かな面が生かさ

れるでしょう。そのためには女子の指導者の育成ということについてもつ

と検討されるべきだと思います。将

来に向け県レベルでも今以上に女子

指導者、女子審判員の育成のための講習会の実施を願うところです。私は平成九年度より全剣連の委員となつておりますが、剣道の実績も実力も

導者の育成ということについてもつと検討されるべきだと思います。将

来に向け県レベルでも今以上に女子

指導者、女子審判員の育成のための講習会の実施を願うところです。私は平成九年度より全剣連の委員となつておりますが、剣道の実績も実力も

会が年五回と、先生方のお力添えやご理解のもと行っています。又、その他、全国レベルの大会前は、強化練習会や強化合宿も行われています。

しかし、女子部と一言に言つても幅広く、学生、実業団、家庭婦人等が含まれ、年齢もさまざま、仕事、家事、子育てなど環境の違いにより稽古時間も違います。一般に女子部の稽古会は、平日の午前中が多く、仕事を持つ女性としては、なかなか稽古する機会がなく、各自、所属の実業団や仕事場で行っているようです。そういう女性とも何とか交流していくことは、今後の課題でもあります。愛知県の女性剣道をより発展させる為には、基本的に若い二十代の女性を強化していくと同時に剣道を長く続ける気持ちを養うことが大切だと考えます。

女性の稽古は、特に男性と変わらないわけですが、男性との基礎的な体力の違いは、避けて通ることはできません。「男性は力（筋力）、女性は男性はない柔軟性がある。女性の剣道は、柔軟な体さばきが大切。そして、防具を身に付けた全身や足さばきの美しさ

ことで目標に変化が見られるようになります。お母さん方の段位も上り、少年の指導、剣道大会の審判、運営のお手伝いに参加するようになって参りました。東三河では、年に一度少年指導者の先生方と女子部との稽古会を開けております。その折、社会体育指導者講習会に参加した時に、子どもを指導する時には、子どもと同じ竹刀に換えて稽古する配慮が大切」又、「試合中心になり、勝敗にこだわってばかりでは良くない」この二点が私には強く印象に残つておりましたので、交流稽古会の場で話題にして、意見交換をしました。父母のお考えを取り入れると言つた上でも、この会是有意義で、今後も続けたい行事です。又お母さんを指導して下さる先生の内にも、気持、軽い竹刀に換えて指導して下さる先生もみえます。女性は男性より、骨粗鬆症になり易く面を打たれる事により、頸椎への影響を心配されるからです。すぐに行動に移してくださった先生がおみえになつた事は、感激でした。安心して稽古に精進できます。

剣道を修業して、得る物はそれ

誰にでもできますよ

羽場崎 房江

「お母さんもどうですか、剣道は誰

が必要である。」という内容の剣道講話を聞いたことがあります。又、女性は加齢に伴い、筋力が減少するだけでなく、脂肪の蓄積が大きい。そこで、私は剣道を長く続けて行くには筋力増加のトレーニングやストレッチを強化しなければなりません。剣道の稽古は積極的にできても、筋力トレーニングやストレッチは後まわしにしがちです。若い頃から、体で覚え習慣にしたいものです。

又、試合には、必ず付いてまわる精神面においてもしっかりと強化すべきである。稽古中は実にりっぱな内容であるのに対し、試合になるとまるで内容が悪い。試合前は、とても緊張して落ち付かない。などの声をよく聞きます。折角力のある選手がレギュラーに入れない。これは、精神的にストレスがかかり、自分の持つている力が出せなくなるのです。それが力の内と言いますが、どんどん試合経験を持つて、少しづつ克服していくほししいと思います。

女性剣道が発展するにつれ、母、兄弟の姿を見て、剣道を始めた子供が、いつか大人になり、また子供に伝えて行く、子供にとって母の存在

は、とても身近であり、一緒にいる時間が長い。剣道の普及に、女性剣道は、かかせないものになりつつあります。子供達が「剣道」という武道に関心を持ち、夢を膨らませて、未来の剣道界を背おつてくれる事を願います。

豊川婦人剣道教室も十三年目を迎えた。組織の中で、一、稽古会への参加、二、各種講習会への参加、三、昇段審査への参加等あります。

東三河の女子部は、西暦二千年の

家庭婦人剣道に携わつて

永井秋子

にでもできますよ」の先生の言葉に、安心して剣道という未知の世界に踏み込みました。

竹刀を見るのはもちろん、竹刀に触れることも初めての中、親子三人始めていました。竹刀を持つだけでも重いのに、道着、防具を着けた時には、本当にやつて行けるかと心細くなりめました。当時小学校一年生の娘が小さな体で、一生懸命やつている姿を見て私もがんばることができたと思います。

あるお母さんから、「がんばって稽古してますね」と言われ、今までの私は周りを見る余裕がない事に付きました。当時は先生の言葉以外耳に入らないほど集中していたと思います。稽古ができるない時などは剣道がやりたい、という気持ちになり、剣道が好きという強い思いを自覚はじめたのもこの時期からでした。娘も次々と教室を卒業し、私一人で稽古に向かうようになりました。練習を重ね、先生方のご指導のもと、市の大會で審判をさせて頂いたり、教室でのポジションを与えて頂きました。そして一緒に稽古してきた子どもたちから「昇級審査で合格した」という報告を受けたとしても嬉しくなります。

今年で十三年目を迎えるました。その出発点は、豊川剣道連盟が提案され、先輩方には、随分お世話になりました。そこで始まつた婦人剣道教室が基礎となりました。東三河剣道連盟事務局と豊川剣道連盟のご助力なくして東三河の女子部は、ないと言つても過言ではありません。そういう雰囲気作りをしていくことも私たち家庭婦人の役目だと思います。

技術面での強化については、先生方のご指導にしたがい力を付けて頂きました。本当に感謝致しております。そういう意味で、私がいつでも筋力トレーニングやストレッチは後まわしにしがちです。若い頃から、体で覚え習慣にしたいものです。

中学校部活動の現状と課題

名古屋市立山田中学校 松岡恵子

私は現在、名古屋市内の公立中学校に勤務し、剣道部の顧問をしております。私見ながら、部活動について述べさせていただきます。

(一) 部活動の現状

名古屋市内一〇八校の公立中学校の中で、剣道部が活動しているのはおよそ六十校ほどと思われます。また、部員数は一校あたり男女で約二十名ぐらいの学校が多いようです。

ただし、活動そのものは必ずしも數字通りとは言えません。

ご存じの通り、部活動は正課ではなく課外活動です。そのため校内で活動し、教員が顧問を務めるにも関わらず、その位置付けは大変不安定なものであります。例えば、活動に関わる予算はなく、自由参加が原則です。また、対外試合や休日の練習などの扱いも特に規定がありません。

さて、活動そのものについては、顧問の意向に大きく左右されています。経験者の方はもちろんですが、未経験者の方も大変熱心に指導されて、頭の下がる思いです。ただ、やっと規定がありました。

二年生剣道選択授業の実践を通して

西尾市立福地中学校 鈴木睦

一 はじめに

少年少女の剣道人口も多いが、西尾市の剣道の発展を支えているのは多くの指導者に恵まれていることである。中でも小中学校的剣道指導者や剣道道場の指導者の力に負うことが多いと思われる。

しかし、学校の部活動や道場で活躍する剣道部員以外の児童、生徒にとっては、「西尾市は剣道が強いよ。」西尾市は剣道が盛んだよ。」といふことは知つても剣道の中身についてはほとんど知らないのが現状である。中学校における剣道選択制授業を経験できる生徒だけが、剣道を体验できるだけであり、剣道文化に

の一端としての存在を高めていきたいと思っています。

(参考資料・剣道部員のアンケート)

- 一、剣道をどうして始めたか?
- ・自分から 70%
- ・友人に誘われて 20%
- ・兄弟、親に勧められて 10%

- 二、剣道を続けたいのは?
- ・中学校の間だけ 65%
- ・高校まで 30%
- ・大学、大人まで 5%

- 三、今の目標は?
- ・次の級や段をとる 55%
- ・試合で勝つ 30%
- ・やめずに続ける 15%

ふれることができるのです。

そこで、中学校における剣道の選択制授業を少しでも充実することが、地域西尾で学ぶ生徒のためになると考へ、福地中学校の剣道選択制授業を模索することにした。

二 生徒の意識より

三 研究のねらい

二年生の剣道の授業を選択するにあたり生徒の剣道に対する思いを調べることにした。剣道選択者三十九名のアンケートから抜粋してみた。

①自ら学びの自立

③お互いに認め合い高め合う姿勢

④学んだことを周囲に働きかけ、自分の生活に生かす力

す。また、剣道を学ぶ者にとって、試合の勝敗はもちろんですが、自分の技量が認められる級、段審査は大きな励みであり、目標です。これらのことを行なうと、日々練習を積むことによって、驚く程の成長をします。

はり剣道を理解され、指導ができる方が望ましいので、顧問の人選には各校とも苦慮していると聞いております。

しかし、他の部活動と異なり、剣道部には外部講師を引き受けたまま教えるのは、このようないくつかあります。

本当に恵まれています。部活動を社会教育に移行するのは、このようないくつかあります。

ところでの生徒たちの活動は、と言ふと正式には五月頃に始まります。

初心者あり、かなりの経験者あり、混合ながら新入生たちは真剣な眼でスタートします。初心者の場合、活動できるのは正味二年程なので、中味の濃い練習が要求されます。先生や先輩の教えを素直に受け入れ、意欲を持つ生徒はどんどん上達します。夏には総合体育大会も控え、この時期は一年間で最も活気があります。

か。

次に活動費の問題です。私が転勤した当時、試合用の紅白たすきや審判旗などの整備がほとんどありませんでした。その後の試合に間に合いました。

多くの問題を抱えながらも、懸命にがんばる部活動の生徒の姿に、私自身が励まされています。共に汗し、共に笑う。そんな場が部活動だと思います。今後は、さらに広く部活動を広げてほしいものです。

以前、テレビで八段審査の様子が放送された時、学年の全生徒にそれを見せました。始めは無関心だった生徒も、受審者の直向しさにどんどん引き込まれ、真剣に見入っていました。今の中学生も、十分感じる心を感じます。剣道の素晴らしさを内に十分練習できない、顧問がいるから休廻部とした、などと聞くと残念でなりません。難問ですが、広く論議してもらえないものでしょう。

か。

「剣道は試合が多くて、試合会場に送らなければならぬからだめ。」と言われ、入部できませんでした。授業で剣道があると聞いて真っ先に剣道を選びました。剣道は小学校の時、部活動で少しやつていました。

(H子)

剣道では、相手を尊重する心や礼法を身につけ、安全に注意しながら、技術の向上を目指すことが大切である。このためには、基本となる学習を十分身につけてから、試合や互格練習に望ませたいと考えた。また、選択制による学習であることを踏まえ、自分にあつた技を選んで学習し、得意技として身につけさせていきたいと考えた。

四 研究の仮説

上記のような生徒を育成していくのにどのような手立てや教師の支援が必要なのかを明らかにしていくことが研究のねらいである。そして、次年度の剣道選択制授業の推進の手がかりとしていきたい。

(1) 学習ノートを活用する

上記の仮説によつて、研究のねらいである「自ら学び行動する力を育成」に迫ろうと考えた。

(2) 互格練習や試合練習を体験する

上記の仮説によつて、研究のねらいである「自ら学び行動する力を育成」に迫ろうと考えた。

(3) お互いに認め合い高め合う姿勢

(4) 学んだことを周囲に働きかけ、自分の生活に生かす力

せようとして、大変困った覚えがあります。もちろん活動費は個人負担が原則です。しかし、生徒たちがもう少し気軽にスタートできる環境を整えられないものかと思います。

最後に部員数の問題です。年々生徒数が減少し、部活動に参加する生徒も減っています。また、社会の部活動に対する意識も変化し、熱意も切ろうと努力する姿は、部活動経験者ならではです。部活動の弊害が再三取り上げられます。確かにゆとりがある生活とは言えませんが、このような他に得られない面もぜひ認めてもらいたいと思います。

部活動は課外活動のため、生じる問題点がいくつかあげられます。例えば、顧問の教科の関係があるため、中学校では教科の関係があるため、課外活動への配慮があるとはいえない。有力選手をかかえながら、校内でも十分練習できない、顧問がいるから休廻部とした、などと聞くと残念でなりません。難問ですが、広く論議してもらえないものでしょう。

以前、テレビで八段審査の様子が放映された時、学年の全生徒にそれを見せました。始めは無関心だった生徒も、受審者の直向しさを内に十分練習できない、顧問がいるから休廻部とした、などと聞くと残念でなりません。難問ですが、広く論議してもらえないものでしょう。

か。

次に活動費の問題です。私が転勤した当時、試合用の紅白たすきや審判旗などの整備がほとんどありませんでした。その後は、さらに広く部活動を広げてほしいものです。

多くの問題を抱えながらも、懸命にがんばる部活動の生徒の姿に、私自身が励まされています。共に汗し、共に笑う。そんな場が部活動だと思います。今後は、さらに広く部活動を広げてほしいものです。

以前、テレビで八段審査の様子が放映された時、学年の全生徒にそれを見せました。始めは無関心だった生徒も、受審者の直向しさを内に十分練習できない、顧問がいるから休廻部とした、などと聞くと残念でなりません。難問ですが、広く論議してもらえないものでしょう。

か。

次に活動費の問題です。私が転勤した当時、試合用の紅白たすきや審判旗などの整備がほとんどありませんでした。その後は、さらに広く部活動を広げてほしいものです。

多くの問題を抱えながらも、懸命にがんばる部活動の生徒の姿に、私自身が励まされています。共に汗し、共に笑う。そんな場が部活動だと思います。今後は、さらに広く部活動を広げてほしいものです。

以前、テレビで八段審査の様子が放映された時、学年の全生徒にそれを見せました。始めは無関心だった生徒も、受審者の直向しさを内に十分練習できない、顧問がいるから休廻部とした、などと聞くと残念でなりません。難問ですが、広く論議してもらえないものでしょう。

か。

次に活動費の問題です。私が転勤した当時、試合用の紅白たすきや審判旗などの整備がほとんどありませんでした。その後は、さらに広く部活動を広げてほしいものです。

多くの問題を抱えながらも、懸命にがんばる部活動の生徒の姿に、私自身が励まされています。共に汗し、共に笑う。そんな場が部活動だと思います。今後は、さらに広く部活動を広げてほしいものです。

以前、テレビで八段審査の様子が放映された時、学年の全生徒にそれを見せました。始めは無関心だった生徒も、受審者の直向しさを内に十分練習できない、顧問がいるから休廻部とした、などと聞くと残念でなりません。難問ですが、広く論議してもらえないものでしょう。

か。

次に活動費の問題です。私が転勤した当時、試合用の紅白たすきや審判旗などの整備がほとんどありませんでした。その後は、さらに広く部活動を広げてほしいものです。

多くの問題を抱えながらも、懸命にがんばる部活動の生徒の姿に、私自身が励まされています。共に汗し、共に笑う。そんな場が部活動だと思います。今後は、さらに広く部活動を広げてほしいものです。

(3) 「礼に始まり礼に終わる」を意識する

剣道は相手がいなくては学習が成立しない。相手を尊重し、相手に感謝することを大切にする剣道の特性を理解していけば、自ずと社会に働きかけたり、生活の中に学習の成果を生かしていくことができるであろう。

六 授業実践の成果と今後の課題

◆ 剣道の学習を終えて
〈生徒の反省より〉

- 負けると思ったときに負けてしまうから剣道はふしげです。
- 相手の動きを見切れないばかりに自分の動きを読み込まれて技を決められてしまう。剣道

五 二年生剣道選択制授業の構想 (十二時間完了)

時間	めあて	指導内容
1	基本動作をマスターしよう	・正座と座札 ・竹刀の握り方 ・足の踏み方と足さばき ・素振り (4~1拳動)
2 3	しあわせをマスターしよう 二段技 引き技 払い技 出ばな技	・防具の着装 ・中段の構え ・打ち返し ・しあわせと互格練習
4	しあわせでかかり練習をしよう	・打ち返し ・かかり練習 ・互格練習 ・打ち返し
5 6	応じ技をマスターしよう ぬき技 すりあげ技 打ち落とし技	・応じ技 ・互角練習 ・打ち返し
7 8	得意な攻め方を工夫して互格練習をしよう	・互格練習
9 10	得意な攻め方を工夫して個人戦に挑戦しよう	・グループ分け ・簡単な審判方法 ・個人試合 (三本勝負)
11 12	得意な攻め方を工夫して団体戦に挑戦しよう	・チーム分け ・ポジション決定 ・団体試合 (三本勝負)

【研究実践の成果】

はじめ防具を着けるのが大変でした。いろいろな技を試してみて、自分ができたときは嬉しかったです。相手のすきを見て技を出すと結構打てるのちよつと待つて打つことも大切なことだと思いました。

(Y男)

(1) 学習ノートの活用について
書くことによって授業への取り組みを意欲的なものにすることができた。学習ノートに剣道に対する思いを自分自身の授業への取り組みにたいして自己評価をしていくことは自ら学ぶ姿勢を作りあげていくことになる。

(2) 互格練習や試合練習を取り入れたことについて
生徒自身の根底にある運動欲求は実際に相手との打ち合いにあると考えている。基本動作や基本技の習得により関心が高いと思われる。生徒の反省にもあるように初めは相手に打ち込めなかつたが一本取れた時のうれしさが文面より伝わってきた。互格練習や試合練習の中でお互いを認め合い高め合う姿勢が随所に見られた。

(3) 「礼に始まり礼に終わる」ことの意識づけについて
相手を尊重し、相手に感謝する場面の少ない日常の授業の中でも剣道の授業においては常に意識させることができます。剣道に期待したいことができる。剣道に期待したいことで「礼儀正しくなりたい。」と書いたM子は「おねがいしますとかありますようになつてきました」と反省を締めくくつた。

【今後の課題】

(1) 今回の研究実践では、評価面での研究が不十分であった。生徒側の自己評価はできたが教師側の評価観点を明確にしていき、「自ら学び行動できる生徒の育成」に結びつく評価のあり方を研究する必要がある。



お薦めする本

叢書 禅と日本文化 6

禅と武道

三六一頁

発行 ペリカン社 三、八〇〇円
叢書禅と日本文化 (全十巻) の第六巻目。

日本文化と禅との関りは深い。このことを著した書物も数限りない。本書は武士道と禅との関わりについて述べられたいくつかの代表的な著書のエッセンスをまとめて編集されている。剣道についての内容も多く、教養の書としてお薦めしたい。なお、編集者鎌田茂雄氏の解説も述られており楽しく読むことができる。

主な内容 (目次より)

禅と武士道 (横尾賢宗・高橋空山・古川哲史)、禅と武道 (大森曹玄)、剣道と仏教 (結城令聞)、剣道の発達と宗教 (大森曹玄)、禅と剣道 (鈴木大拙)、弓と禅 (ヘリゲル・中西政次)、的 (まと) (須原耕雲)、禅と合氣道の哲学 (鎌田茂雄)、針谷夕雲 (有馬頼義)、鉄舟の禅 (大森曹玄)

投稿
四十才からの剣道
伊佐治繁

私は、子供の頃から運動はあまり好きでなく、大人になつても別にこれといったスポーツはやつていませんでした。四十才になつて人間ドックの検査の結果、数値がだんだん悪くなつてきました。ドクターから軽い運動をしなさいとの通告により、会社の屋上で竹刀を振つていた青年を見て私も素振りを始めたのです。生涯スポーツとしてやれるのは剣道だと思い東別院の洗心道場へ入門をしました。会社が終わつてから初步の勉強で基本打ち、技等週三回の練習を続けるうち少しづつ剣道が面白く好きになり練習にも熱が入つてきました。各先生からご指導を賜りながら休むことなく稽古に励んだお陰で、一級、初段、式段、参段、四段、と順調に進むことが出来ました。合格する度に次の段に挑戦と、先生方の技や足捌き、手の内、問合なども足ぶみ状態で、悩み苦しめた毎日でした。五段の受審に際しては四年間も足ぶみ状態で、悩み苦しめた師範長の田中弘先生に報告する時

模擬審査に入りました。評価はまことに満足な結果でした。評価はまことに満足な結果でした。

りよくありませんでした。評価表の位取り、適正な間合いでの攻防の美しさ、競争、理合、正中線からの思い返し、先生のアドバイスを耳にし、回を重ねることが自分に自信がいやこれは私に与えられた試練だと思ひ返し、先生のアドバイスを耳にし、回を重ねることが自分に自信がつき、やれるんだと自分に思い込ませて何回もかの五段審査に臨みました。やつとの思いで念願の五段に合格が出来た時の喜びは筆舌ではあらわれません。五段の重みをすしりと喜びで一杯でした。よしこからはらら始めた剣道だが技量、風格、識見等誰にも負けない気持ちで稽古に励もうと決意をしました。剣道は、スマートで美しいのが本来の姿だと思っていますがどうしてもうまくいきません。先生方から「自然体で肩の力を抜け」「自分の気持を竹刀にこめて」等指摘をされます。これは稽古量で身につけるしか方法はないと思つて、名古屋市剣連の合同稽古会愛剣連の講習会等には積極的に参加をし、何とかスマートな美しい剣道をと努力をして参りました。六段特別講習にも出席し、県剣連の中村薰先生の講義を身に沁むいで聞き、実技の模擬審査に入りました。評価はまことに満足な結果でした。

申上げます。

改正
平成八年四月一日

段位審査規程(資格)第3条(2)

受審段位	修業年限	年齢または学年
初段	一級受有者	中学校2年生以上
二段	初段受有後1年以上	
三段	二" 2"	
四段	三" 3"	
五段	四" 4"	
六段	五" 5"	
七段	六" 6"	
八段	七" 10"	満46歳以上
九段	八段受有者	満65歳以上
十段	九"	

平成十二年度の受験資格・手数料
及び学科問題は次のとおりです。

事務局だより



熱田神宮奉賛会と(財)愛知県剣道連盟は、熱田神宮への奉納の意味を込めて、五月二十一日(日)午前十時から、第十六回尚武杯争奪剣道大会を中村スポーツセンターで開催するが、今年が西暦二〇〇〇年という節目の年であり、これを機に同大会

優勝旗が新調される

尚武杯争奪剣道大会の

川端武司(43)
松田和美(48)
佐藤重光(52)
山田敏夫(54)

澤田善広(44)
尾出敏博(50)
石川力(54)
仁枝永次(59)

亀井幸雄(60)
伊佐地繁(61)
早川茂典(71)

権藤 莉(61)
中池喜三郎(66)
重松ミチ子(61)

又、六月五日には恒例の、熱田神宮奉納演武会が催され、剣道・居合道・杖道が奉納された。

「ピー」と笛の音と同時に少年剣士は雑巾を手に道場の掃除に、一直線になって中腰で前進する。袴にかかる幼年剣士、膝をついて前に進まない少年。さまざまな雑巾がけ。何年もやっている少年は、スマートできれいに掃除する。先輩は低学年の少年に雑巾がけを教える。この風景は稽古前には各道場で必ずやって見えることである。

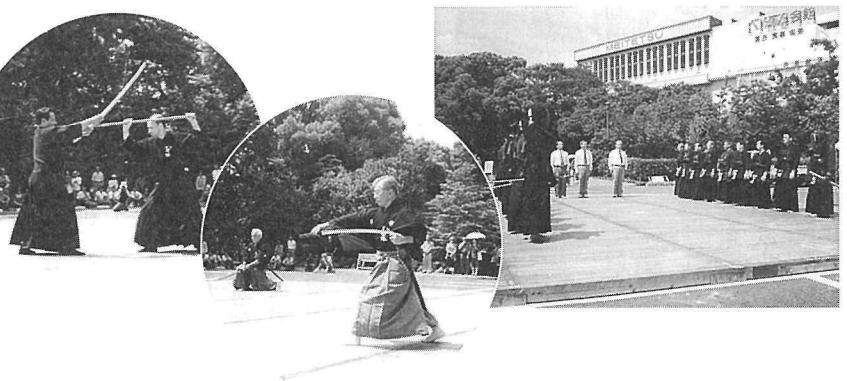
の優勝旗となる「尚武旗」を初めて制作し、これまで授与してきた「尚武杯」とともに今大会の優勝者に授与し、その栄誉を称えることを決めた。

「尚武旗」は、縦約七〇センチ、横一メートルの布地製で、紫紺の外に中央に熱田神宮の紋(桐と竹をあしらったデザイン)と小串和夫熱田神宮宮司の揮毫による「尚武」の文字が記されている。

尚武杯争奪剣道大会は、愛知県下の企業や官公庁などから選手が参加する、トーナメント方式による団体戦で、昭和六十年(一九八五年)に初めて開催して以来毎年一回この時期に開催している。十六回の開催となる今大会には、男子の部は八十七チーム、女子は十五チームが参加した。男子優勝者、剣親会には、尚武旗、尚武杯が授与された。

「尚武」とは武道を貴び、その発展を祈念するという意味が込められている。

「尚武」は、武道を貴び、その発展を祈念するという意味が込められている。



段級	審査料	登録料
8 ~ 2級	800円	1,600円
1級	900円	2,100円
初段	1,600円	4,300円
式段	1,800円	5,100円
参段	2,600円	7,400円
四段	3,200円	9,200円
五段	4,000円	13,900円
六段	9,000円	31,000円
七段	12,400円	50,100円
八段	15,800円	72,700円
称号		
鍊士	17,000円	40,600円
教士	24,900円	58,600円
範士		78,750円

一、出題教科書

○初段の部

○二、三段の部

○三、五段の部

- (1) 剣道の理念
- (2) 剣道の訓
- (3) 剣道の理
- (4) 剣道の訓
- (5) 剑道の理
- (1) 剣道の理念
- (2) 剑道の訓
- (3) 剑道の理
- (4) 剑道の訓
- (5) 剑道の理
- (1) 剣道の理念
- (2) 剑道の訓
- (3) 剑道の理
- (4) 剑道の訓
- (5) 剑道の理
- (1) 剣道の理念
- (2) 剑道の訓
- (3) 剑道の理
- (4) 剑道の訓
- (5) 剑道の理
- (1) 剑道の理
- (2) 剑道の訓
- (3) 剑道の理
- (4) 剑道の訓
- (5) 剑道の理

平成十二年度、学科試験について

二、出題形式
記述式、語句挿入、選択肢(記号で解答)等です。

居合道学科問題

居合教本より出題されます。

杖道学科問題

杖道教本より出題されます。

「ピー」と笛の音と同時に少年剣士は雑巾を手に道場の掃除に、一直線になつて中腰で前進する。袴にかかる幼年剣士、膝をついて前に進まない少年。さまざまな雑巾がけ。何年もやっている少年は、スマートできれいに掃除する。先輩は低学年の少年に雑巾がけを教える。この風景は稽古前には各道場で必ずやって見えることである。

この少年同士のふれあいが有意義で、稽古前の整列や上級生から低学年順に並ぶ。少年の躊躇について論議される時代に、この雑巾がけも躊躇の一端で、現在なんでも簡単にできる時代であるが、極寒の中冷たい雑巾を持ち雑巾がけなど「いや」と思うだろう。剣道を学ぶ者として自分が学ぶ道場は、四季を問わずきれいにして、よい環境で師から教えを受けれる。この姿勢があつて、はじめて剣の道が開けるのではないだろうか。

「なんだ雑巾がけ、そんなの古いよ」といわれる人もいると思うが、幼少年からきつちり原点を学ぶことによって21世紀に大輪の花が咲くことを念じているのは私だけだろうか。

連盟所在地

財団法人 愛知県剣道連盟 理事長 中村 薫 事務局長 竹味由登
 〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通り2-41 ウチフジビル2F
 TEL052-481-0093 FAX052-481-0095

尾張地区剣道連盟 理事長 青山定男 事務局長 寺澤将美
 〒491-0903 一宮市八幡4-1-28 一宮武道館内
 TEL0586-43-1023 FAX同じ

名古屋市剣道連盟 理事長 山本重夫 事務局長 田中弘
 〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20 富士美ビル2E
 TEL052-361-8073 FAX同じ

尾南地区剣道連盟 理事長 北村豊 事務局長 伊藤勲次
 〒477-0037 東海市高横須賀町真光寺20番地
 TEL0562-32-0103 FAX同じ

西三河剣道連盟 理事長 太田吉郎 事務局長 浅井善七
 〒446-0037 安城市相生町3-7
 TEL0566-76-1194 FAX0566-75-3664

東三河剣道連盟 理事長 松本武 事務局長 富田孝夫
 〒443-0104 蒲郡市形原町西御屋敷28-2
 TEL0533-57-2769 FAX0533-69-7117

中日新聞社

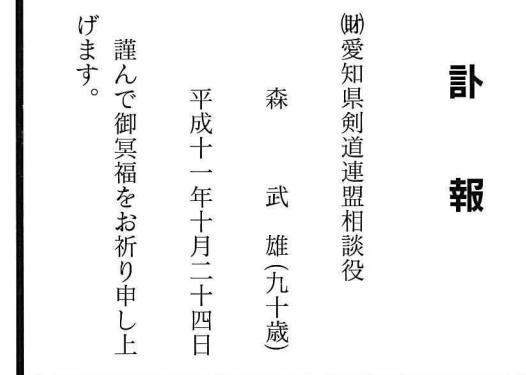
成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

- ◇本社 (名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1)
FAX 052(201)4331
問い合わせは 電話052(221)0793
- ◇豊橋支局 (豊橋市八町通3ノ91)
FAX 0532(54)4655
- ◇岡崎支局 (岡崎市東明大寺町16ノ18)
FAX 0564(25)1554
- ◇豊田支局 (豊田市美山町3ノ34ノ34)
FAX 0565(25)1118
- ◇一宮支局 (一宮市大江1ノ13ノ13)
FAX 0586(72)5035
- ◇半田支局 (半田市出口町1ノ45ノ18)
FAX 0569(23)2372
- ◇春日井支局 (春日井市鳥居松町3ノ60)
FAX 0568(81)2797

読売新聞社

FAX 052(211)1085

取材に来てくれることもありますので、
先づ一報を



編集後記

99年は、委員会で特集として21世紀の女子剣道について各地区的代表の方々に投稿をお願い致しました。女子剣道の心意気などが如実にあらわれ、前向きの姿勢が深く感じられます。少年犯罪が全国各地で多発するこの時期に剣道を通じて人間形成の道にご努力されている皆様方に心から御礼を申し上げるとともに厳しい時代であることを念頭にご指導賜ることを重ねてお願い致します。なお引き続き新聞への投稿についてもよろしくお願い致します。

// // // 委員長 編集委員
 // // // 若松幸雅 北村滋敏 中川治彦 中川弘

広報「観の眼」第一十三号

平成十二年八月一日

財団法人 愛知県剣道連盟

〒453-0034

名古屋市中村区鳥居通り二ノ四一

ワチフジビル二階

FAX(052)481-1009
電話(052)481-1009

題字・故竹田弘太郎名誉会長